

逍遙館長のところ

「ただただ『それだけでいい』、の ところ」

4月8日 逍遙^{逍遙}

突然ですが、太田道灌と言えば、あの江戸城を連想されることと思います。そうです、今日4月8日は、その太田道灌（室町時代後期の武将）が今から遡ること560年以上も昔、江戸城を築城した日にあたるそうです。

尤も、平山城の一種とされる当時の江戸城は、その後、徳川家康が大規模な拡張・改修を開始し、第3代将軍・徳川家光の代に完成しました。

その江戸城も、戊辰戦争の最中、今月11日に第15代将軍・徳川慶喜が退去し、いわゆる無血開城に至りました。因みに、時代は前後しますが、関ヶ原の戦い後、西軍にくみした島津氏の所領を、勝者・徳川家康が安堵したのも、同じ今月11日でした。時の権力者の盛衰を象徴する歴史上のひとこまが、正に同じ4月11日という日にあったのです。

そして令和の今年、またまたこの同じ4月に、当時の薩摩の権威の象徴ともいえる鶴丸城・御楼門の復元が完成しました。長い年月をまたいでの、この不思議な巡り合わせに、逍遙館長はただただ「それだけでいい」のです。

◎ 次回の予定「4月はやっぱりパンから始まる、の ところ」

